

耕作放棄地の お花畑化プロジェクト から生まれた たまがわはちみつです

協力:「耕作放棄地のお花畑化プロジェクト」推進協議会
監修:
玉川大学ミツバチ科学研究センター
玉川大学農学部生産加工室
生産者(採蜜者):野村洋平
製造者:奥羽養蜂園(株)

お花畑化 プロジェクトの 目的

- 農地の再生
- 生態系の保全
- 景観の美化
- 生物多様性の促進
- 蜜源植物の増殖
- 養蜂及び農業の振興



お花畑の百花蜜



玉川大学ミツバチ科学研究センターが「ミツバチのための資源創出」研究の一環で2015年より取り組んでいる「耕作放棄地のお花畑化プロジェクト」から、新しいたまがわはちみつが生まれました。



播種の様子(2015年秋)

農業は長らく後継者不足が言われていて、各地に耕作放棄地が生まれています。全国でも放棄地率の高い山梨県において、甲府市の北部にある相川地区では耕作放棄地のうち70%は梅林跡地などで、これらは耕地再生が困難のため放置されました。同地区で武田信玄を祀る武田神社にほど近い住宅地周辺でも耕作放棄地が増えて雑草が生い茂り、地域の美観を損なっていました。

「お花畑化プロジェクト」では、こうした放棄地を新たに耕してミツバチが利用できる花を咲かせることで、ハチミツ生産だけでなく、果樹王国である山梨県の果樹栽培に必要な交配用ミツバチの生産も含めた養蜂経営を可能とする資源づくりを目指しています。また、お花畑が広がることで地域の景観の向上にも貢献することができます。

プロジェクトの成果として2016年5月に初めて採れたこの「お花畑の百花蜜」は、プロジェクトで植えた花の蜜を含んだ百花蜜で、透明度が高くすっきりした味が特長です。

今後は、地域の関係者のさらなる協力を得ながらお花畑を増やし、このプロジェクトを継続させてゆきますが、このハチミツを手に入れた方が、日本の農業の現状に思いを巡らせていただけることを切に願っています。

キャンパスストア・タマガワ
TEL 042-739-8945

🔍 たまがわはちみつ で検索